

令和7年度 一般社団法人 長野県病院薬剤師会 事業計画

一般社団法人 長野県病院薬剤師会

長野県病院薬剤師会は、病院薬剤師による医療の質の向上ならびに厚生福祉の増進への寄与を通じて、長野県民が地域に暮らしながら安心して質の高い薬物治療を受けることのできる医療提供体制の強化を目指す。この目標を達成するために、本会は各事業の活動内容の透明性を確保し、組織ガバナンスのもとで中長期的な視点から計画的かつ効果的な事業を展開する。さらに、一般社団法人化に伴い、本会の事業を長野県や他の職能団体と連携して進めることで、病院薬剤師の地域医療への貢献に対する社会的な認知度を高める。令和7年度の本会の事業計画の全体像を以下に示す。

学術部は、学術委員会および研究推進委員会の活動を通じて、本会会員の学術的水準を向上させる。この取り組みにより、会員施設における認定・専門薬剤師および指導薬剤師の育成、会員によるエビデンスの創出、さらにはそれらを通じた患者サービスの向上を目指す。

業務部は、業務委員会、中小病院委員会および医療安全対策委員会の活動を通じて、会員施設における病院薬剤師に関連する診療報酬算定、医療 DX、自然災害に対する平時の準備・防災対策、ならびに医療安全の推進を図るため、施設間の相互連携や支援体制を構築する。また、他の職能団体との連携を強化し、長野県の地域特性を考慮した医療提供体制の充実を図る。

教育部は、生涯研修委員会および新人教育委員会の活動を通じて、本会会員が日病薬病院薬学認定薬剤師の資格を取得しやすい環境を整え、次世代の病院薬剤師の育成に努める。また、薬学生教育委員会の活動を通じて、会員施設における薬学実務実習の質の担保と認定実務実習指導薬剤師の養成により、長野県内の各地域における偏在のないふるさと実習の受入体制を整備する。

総務部は、ホームページ委員会および広報委員会の活動を通じて、ホームページ、会報誌、マスメディアを利用して本会会員、地域社会、薬学生への情報発信を強化する。さらに、総務委員会では本会の将来構想の策定とともに、各種規定の整備を行い、一般社団法人として透明性のある健全な会運営を推進する。

支部活動では、長野県薬剤師会やその下部組織である地域薬剤師会との連携を深め、長野県の地域特性を考慮した地域包括ケアシステムの整備を通じて、病院薬剤師の地域医療における役割をさらに強化する。薬剤師確保特別委員会は、常務理事会直下に組織配置し、日本病院薬剤師会が推進する病院薬剤師確保策に対し、長野県内における病院薬剤師確保および地域偏在の解消に向けた事業を計画する。

令和7年度については、以下に掲げる事項に取り組むこととする。

(1) 委員会事業計画

【学術部：学術委員会】

Catch Copy 『施設を超えて学びを共有し、専門的な深い知識を臨床の場で実践しよう』

活動計画

I. 第68回通常総会における特別講演会

担当：田中、清原

時期：2025 年 6 月 7 日(土) 14:50～15:50

開催場所：ホテルブエナビスタ

内容：将来の医療環境で求められる薬剤師像と薬剤師の資質向上や人材育成

講師：厚生労働省 機能性表示食品等の健康被害情報への対応に関する小委員会委員

内閣府 食品安全委員会 動物用医薬品専門調査会委員

島田 美樹先生

共催：大塚製薬工場

開催形式：集合研修

II. 長野県病院薬剤師会 病院薬学実践セミナー

施設を超えて学びを共有し、専門的な深い知識を臨床の場で実践する場を企画します。

病院薬学実践セミナーを通じて、県内の学術活動や医療の質の向上を支援していきます。

昨年度に引き続き、今年度も3回の開催を予定しています。

(開催形式：Web 開催または集合開催については検討中)

【学術部：研究推進委員会】

Catch Copy 『日常の疑問を解決し医療の質の向上につなげよう！』

活動計画

活動目標

会員施設の皆様の研究（特に臨床研究）に関する知識と理解の向上、次世代を担う活躍人材の育成を通して、会員施設からエビデンス発信し医療の質向上を目指す。また、その成果を専門薬剤師、認定薬剤師の取得につなげ、会員の学術的な水準を高める。

I. 長野県病院薬剤師会 臨床研究推進セミナーの開催

- ・テーマ：調整中（一般演題：1 題、特別講演 1 題を予定）
- ・演者：調整中
- ・日時：10 月～12 月を予定
- ・参加費：調整中
- ・開催形式：現地開催もしくは WEB 開催

II. 多施設共同研究の立ち上げ

長野県病院薬剤師会の会員施設での多施設共同研究体制の構築を目指す。今年度は研究推進委員の施設を中心に多施設共同研究（後ろ向き観察研究もしくはアンケート調査研究）を立ち上げ、多施設共同研究実施における課題を抽出する。

【業務部：業務委員会】

Catch Copy 『病院薬剤師に求められていることに取り組もう！』

活動計画

■活動目標

安全で質の高い薬物治療を提供するため薬剤師業務の改善を推進して、新たな業務の展開を提案・検討する。

■活動計画

1. 業務に関する情報発信と共有

- (1) 「ながのけん病薬誌」にて各施設における業務紹介の連載企画
- (2) 「病院薬剤師の集い」メーリングリストの利活用の推進
- (3) アンケート調査による県内会員施設の業務実態の把握
- (4) フォーミュラリの構築と運用
- (5) 災害時医療における病院薬剤師業務の構築

2. 研修会開催

- (1) フォーミュラリに関する研修会
 - ・ 日程 : 2025年10月頃
 - ・ 開催形式: WEB 研修
 - ・ 共催 : ニプロ株式会社
 - ・ 同時開催: アンケート調査報告・会員施設から業務に関する情報提供
 - (2) 災害時医療に関する研修会
 - ・ 日程 : 2026年2月頃
 - ・ 開催形式: WEB 研修
 - ・ 共催 : 「調整中」
- ・ 同時開催: アンケート調査報告・会員施設から業務に関する情報提供

【業務部：医療安全対策委員会】

Catch Copy 『多職種で取り組もう！医療安全文化の醸成』

活動計画

■活動目標

医療従事者の一員として医療現場で発生する危険や損害、トラブルなどを回避する一翼を担うため、医療安全対策のスキルを学び、リスクマネジメントが行なえる薬剤師を共育する。

■活動計画

1. 県内の医療6団体で研修会を開催することで医療安全対策の多様な視点を深め、医療の安全・質の更なる向上を目指す。
(参加団体: 長野県看護協会・長野県病院薬剤師会・長野県臨床検査技師会・長野県臨床工学技士会・長野県診療放射線技師会・長野県理学療法士会)

①2025年度 多職種合同医療安全研修

日時: 2025年7月12日(土) 10:00~16:00

会場: 長野県看護協会会館

テーマ: 「メディエーションを用いたペイシェントハラスメント対応を学ぶ」

講師: 高木宏明先生(富士見高原医療福祉センター)

目的: 医療メディエーションの基礎を知り、苦情対応時の対話推進につなげる。

②2025年度 多職種合同医療安全研修

日時: 2025年11月29日(土) 10:00~16:00

会場: 長野県看護協会会館

テーマ:

I. 「うっかりミスはなぜ起こる？」

II. 「タスクシフトの取り組みから見た多職種医療安全」

講師：

五十嵐博先生（群馬県立県民健康科学大学）

西尾直美先生（名古屋第二赤十字病院）

目的：臨床現場でのアクシデントを防ぐための多職種連携およびエラーにつながる人間の特性を学び、医療安全管理につなげる。

2. 医薬品医療安全研修会の開催

開催時期：9～10月

会場：松本市

参加対象者：長野県病院薬剤師会会員、長野県薬剤師会開局薬剤師など

内容：

I. 各施設のプレアボイドや医療安全対策などを報告

II. 医薬品医療安全講演会の開催

3. 医療安全推進週間の啓発活動

目的：医療安全推進週間の認知度を高め、患者側・医療側を含む長野県民全体の医療安全への関心をもっていただく。

啓発期間：厚生労働省：毎年度11月25日を含む1週間

活動内容：YouTubeを作成し県病薬ホームページに掲載する

内容：医療安全、私たちの三つの言葉

安全な医療を提供するために、各施設が大切にしていることや心掛けていること、取り組んでいること等を三つの言葉で表現し、各施設10秒程度の動画を作成する。

会員に動画募集または各地区2施設、計8施設 合計80秒動画を作成する。

4. 配信期間 10月～12月

【業務部：中小病院委員会】

Catch Copy 『つながるを力に！』

活動計画

活動目標

施設の内外に対して「顔の見える中小病院薬剤師」を目指し、施設の垣根を越えて気軽に情報交換できる横の連携体系を拡充する。

活動計画

1. 長野県内中小病院薬剤師のための情報交換の場「中小web談話室」の運用（毎月1回）
2. 長野県内中小病院薬剤師のためのメーリングリスト「長野県中小病薬友の会」の運用
3. 特別講演&情報交換会の開催（第9回、第10回）

【教育部：新人教育委員会】

Catch Copy 『未来の担い手の学びの場、つながろう薬剤師！』

活動計画

1. 新人研修会の概要と目的

新人薬剤師に病院間・世代間での人的交流を深めてもらうために年2回研修会を開催する。研修会の参加資格は原則的に新卒の薬剤師とするが、中途採用や過去の研修会に参加できなかった場合も、事前の参加希望があれば受け入れる。

2. 新人研修会の内容

開催形式として、新人教育委員によるプレゼンテーションと、新人参加型のディスカッション形式を組み合わせで行う。参加型研修については、新人薬剤師が主体となり、テーマに沿って新人同士の活発なディスカッションが促されるよう委員が進行をサポートする。

3. 日病薬病院薬学認定薬剤師制度との連携

日病薬病院薬学認定薬剤師制度との連携体制については、教育部全体の事業として協力し推進していく。また、新人研修会が日病薬病院薬学認定薬剤師制度の認定講習会としての条件を満たすならば、積極的に申請を行う。

○令和7年度第1回新人研修会

- ・テーマ：『調整中』
- ・日時：令和7年10月予定
- ・開催方法：インターネットを利用したWEB開催
- ・内容

新人教育委員よりプレゼンテーション

グループディスカッション

グループディスカッションのまとめ・発表

※主にグループディスカッションの時間が取れるようタイムテーブルを検討

※2.5～3時間程度で開催

※生涯研修委員会より情報提供

○令和7年度第2回新人研修会

- ・テーマ：『調整中』
- ・日時：令和8年2月予定
- ・開催方法：集合しての現地開催
(長野県薬剤師会医薬品総合研究センターなどを検討)

・内容

新人教育委員よりプレゼンテーション

グループディスカッション

グループディスカッションのまとめ・発表

※主にグループディスカッションの時間が取れるようタイムテーブルを検討

※第1回研修会参加者へ開催後に第2回のテーマ・内容等のアンケートを取り、開催内容を検討する

【教育部：薬学生教育委員会】

Catch Copy 『実務実習を通じて未来の病院薬剤師を育てる』

活動計画

1. 実務実習に関する対応・情報発信

- ①長野県薬剤師会薬局実務実習推進委員会と連携して、実習に関する対応や情報発信を行う。
- ②関東地区調整機構および薬学教育協議会からの情報があれば県病薬の HP やメーリングに配信する。

2. 認定実務実習指導薬剤師養成のための WS や認定講習会への関わり

- ①開催案内・参加希望集計および定員を超えた場合の調整
- ②タスクフォースとしての参加や派遣調整
- ③タスクフォースを輩出する体制の整備・強化

3. 長野県内における認定実務実習指導薬剤師の把握（所属・人数など）と連絡体制の構築・整備

有資格者の移動・退職等により把握しきれていない部分がある。委員会として永続的に有資格者を把握し、実習関連の案内・周知などを迅速・簡便・安価にできるような連絡体制を構築・整備する。

4. 長野県薬剤師会薬局実務実習推進委員会との合同会議

第1回：2025年4月2日

第2回：2025年7月末

5. 認定実務実習指導薬剤師の育成

アドバンスドワークショップの開催（2025年8月31日予定）

長野県薬剤師会薬局実務実習推進委員会と合同で実務実習に関わる病院薬剤師と保険薬局薬剤師が指導のスキルアップをするとともに、お互いの実務実習について情報交換を行い、長野県全体の実務実習の質向上に寄与できるような研修会を企画し、運営する。

6. 横浜薬科大学との相互連携協定に基づき、長野県内での病院実務実習受け入れに向けた準備と対応

【教育部：生涯研修委員会】

Catch Copy 『積み重ねよう研鑽、自信と信頼のために！』

活動計画

I. 活動目標

1. 薬剤師の資質向上の取り組みとして、薬物療法における薬剤師の独自の視点・責任をもって貢献すべく、生涯研修および専門薬剤師、認定薬剤師の養成に積極的に関与する。
2. 単位申請にかかわる長野県病院薬剤師会の事務局の業務負担軽減に努め、これをサポートする。

II. 活動計画

1. 日病薬病院薬学認定薬剤師研修支援システム（HOPESS）、アスyak LIFE 研修等のシステムを運用の周知と手順確立
2. 研修会申請業務の連携
3. 県病薬主催・共催研修会の実績配信
4. 生涯研修に関する研修会の企画・実践

【総務部：総務委員会】

Catch Copy 『県病薬の全ての活動を縁の下から支えます』

活動計画

- ①通常総会・臨時総会・学術大会・役員会の開催について
日程・スケジュール・運営・内容・議事録作成等、事務局と準備を行い、関係委員会との諸調整を行う
- ②病院・診療所薬剤師の未加入者の調査と入会の勧誘
- ③会員・賛助会員等新規会員の獲得（学生会員の新設の検討含）
- ④会員名簿の作成
- ⑤定款・細則に変更が必要となった場合、草案の作成
- ⑥会運営の将来計画の検討
- ⑦会の制度等の整備（表彰制度、福利厚生等）
- ⑧各種調査・アンケートの推進や、意見集約
- ⑨プライバシーポリシーの検討

【総務部：広報委員会】

Catch Copy 『こんなことやってます！文字で伝える県病薬誌』

活動計画

活動目標

県病薬会員の知りたい情報を吸い上げるとともに、活動を共有できるような病薬誌の編集に努める。他の都道府県病薬誌を参照し、コンテンツを見直していく。県病薬アピールのための方策の一環として、ホームページ委員会との連携により情報発信するツールを使い分ける。また、次年度に向けて、ながのけん病薬誌の電子化、ペーパーレス化等を検討する。

活動計画

1. ながのけん病薬誌の発行（4回）4月、7月、10月、1月予定
2. 個人情報掲載に関するルールの見直し（プライバシーポリシー）
3. 第100号（2026年度発刊予定）特別企画の検討
4. ながのけん病薬誌の年間発刊回数、電子化、ペーパーレス化の検討
5. 編集会議（広報委員会）の開催（4回）

【総務部：ホームページ委員会】

Catch Copy 『クスリ（薬）と笑える日常をホームページから』

「会員にとってすごく大事な情報を届けたい。でも、ときどきクスッと笑えるような興味深い情報も届けられるようなホームページでありたい」そんな想いを込めました。

活動計画

活動目標

ホームページの情報配信、コンテンツ作成を中心に迅速な情報提供に努めていき、会員のみなさまにより見やすく、使いやすいホームページを整備していきます。

活動計画

- 1) ホームページの運用、管理

- (1) 掲載されているコンテンツの充実
- (2) 必要な情報の迅速な配信、管理（日病薬から発信される情報、研修会）
- (3) メーリングリストの管理
- (4) プライバシーポリシーの策定
- 2) 各委員会との連携による情報配信
 - (1) 薬剤師確保特別委員会（ホームページの求人窓口）
 - (2) 広報委員会（病薬誌のバックナンバー掲載、アーカイブ化）
 - (3) 医療安全対策委員会（医療安全推進の啓発活動）
 - (4) その他（各委員会からの必要な情報の迅速な配信）
- 3) 日病薬クラウド型会員管理システムの管理

【薬剤師確保特別委員会】

Catch Copy 『次世代と創る、地域医療の未来。選ばれる長野県の病院薬剤師』

活動計画

活動目標

魅力発信と連携強化を通じて、長野県で活躍する病院薬剤師を確保・育成し、地域医療の質向上に貢献する。

活動計画

1. 情報発信・ブランディング強化
 - 1) ウェブサイトの活用強化
 - 2) 県外薬学部との連携強化
 - 3) 対象層別の広報戦略の展開（学生、既卒、U/I ターン）
 - 4) 長野県で働く病院薬剤師の魅力（業務、キャリア、生活等）発信コンテンツの制作
2. 魅力的な就業体験・交流機会の創出
 - 1) インターンシップ・病院見学の企画・運営
 - 2) 合同就職説明会の企画・運営
 - 3) 県内高校生への薬剤師業務啓発活動
 - 4) 薬学生と現職薬剤師との交流会の企画・運営
3. 採用活動支援と入職後の定着促進
 - 1) 会員病院向け採用活動支援（ノウハウ共有、情報交換会等）
 - 2) 新人・若手薬剤師の定着支援策の企画（フォローアップ研修、交流会等）
 - 3) 薬剤業務向上加算の取得・維持支援
 - 4) 働き方改革（タスクシフト/シェア、DX 等）に関する情報提供・好事例共有
4. 行政・関係機関との連携強化
 - 1) 薬剤師確保に関する県との定期的な協議・情報交換
 - 2) 病院薬剤師確保事業奨学金返還補助金制度の運用・広報に関する連携

(2) 支部事業計画

【北信支部】

Catch Copy 『ともに学び、ともに支える』

活動計画

■活動目標

- ・支部内での顔の見える関係性づくり
- ・支部内でともに学べる機会の提供
- ・地域薬剤師会とともに地域医療を支えるための連携推進

■活動計画

- ・支部情報交換会 1回以上
テーマ例
 - > 県病薬支部活動に対する意見交換
 - > 施設間のつながりや連携を高めるための企画
 - > 各施設における日頃の業務に関する悩み相談
 - > 支部長や副支部長が支部会員の意見やニーズを聞く会
 - > 県病薬支部活動に対する理解を深めてもらうような会 など
- ・北信支部オリジナルの勉強会 1回以上
- ・長野市薬剤師会との共催開催企画 1回以上
- ・北信薬剤師会との共同開催企画 1回以上
- ・通常総会 1回

【東信支部】

Catch Copy 『地域に即した連携の強化をはかろう』

活動計画

■活動目標

地域薬剤師会と相互理解をはかり地域に即した医療の貢献

■活動計画

地域薬剤師会との連携をはかるため、地域薬剤師会と意見交換会のテーマを選定したり、発表演題を提出していただいたりして活性化を促す。

1. 意見交換会（シンポジウム and/or グループワーク）

- ・地域薬剤師会、病院薬剤師の相互理解
- ・実務レベルの意見交換・グループワーク
- ・発表や意見交換のしやすい環境づくり
- ・地域薬剤師会と共催か検討。

（例）CKD シール、がん領域、調剤後薬剤管理指導料 1・2（糖尿病、心不全）、
かかりつけ薬剤師指導料（吸入指導）

2. 学術発表会

- ・2026 年 3 月予定
- ・情報交換会の同時開催
- ・地域薬剤師会と共催か検討。

3. 講演会（1 回）

- ・地域薬剤師会やメーカーと共催するかを検討。

【中信支部】

Catch Copy 『繋がる×連携 ～地域のレベルアップを目指して～』

活動計画

- 1) 同支部内での顔の見える関係性作り、情報共有や連携
 - (1) 情報交換・共有の場の提供
 - (2) 共通する悩み等に関し研修会の開催等を集合開催する。
 - (3) メーリングリストの作成
- 2) 地域薬剤師会との連携
 - (1) 地域薬剤師会との連携推進の検討
- 3) 他支部との連携
 - (1) 他の支部との連携活動の検討

【南信支部】

Catch Copy 『つながる南信、ひらくシン・地域連携の扉』

活動計画

一般社団法人化に伴い、下記研修会を企画し、長野県病院薬剤師会に予算申請を行う。
会員の相互交流、連携を深めるために、現地集合開催、オンライン開催をそれぞれ計画。

○現地開催

会場：諏訪赤十字病院

実技演習「災害薬品、備蓄薬品、グッズについて学ぼう」

演者候補 諏訪日赤 五味裕大先生

災害、救急医療看護師他スタッフ

実習 「諏訪赤十字病院 薬剤部 見学」

○オンライン開催

※他支部との合同開催を検討

※南信支部総会との同時開催含む

※各施設の PBPM への取り組みやフォーミュラリの共有 等々

【会計部門】

運営費、会費の適切な運営管理の推進